



北大・地球研合同セミナー・「農」の再発見—世界のフィールドから 見えてくること—を開催（お知らせ）

開催概要：

世界のフィールドで働いてきた研究者が、フィールドからみえる「農」を語り、「農」の再発見を試みます。

開催趣旨：

「知」を再発見することは、私たちにとって非常に重要な試みです。そして、知を再発見するための方法はもちろん、「知」そのものも、極めて多様な広がりを持っています。国際食資源学院は、世界や地域の暮らしの風景から見えてくるものを出発点に、この再発見の試みを行おうと考えています。

船水研究室が実施しているサニテーション（し尿・排水処理）のプロジェクトでは、「農」がサニテーション価値連鎖の形成の中で重要な位置を占めると考えています。そして、「農」は単なる生産活動だけをさすのではなく、人々の暮らしや営みや文化も含んだものと捉えています。つまり、「農」の営みは「生活圏」の営みなのです。

サニテーションプロジェクトでは、「『農』の再発見：世界のフィールドから見えてくること」をテーマに、4回にわたって北大・地球研合同セミナーを開催してきました。5回目となる今回は、地球研地域連携セミナーとして、このテーマをさらに深く掘り下げます。

日程：2017年8月4日（金）開始時刻13：30／終了時刻17：30

場所：北海道大学大学院国際食資源学院 F319室

（札幌市北区北9条西9丁目） 札幌駅北口より徒歩10分

主催：北海道大学大学院国際食資源学院、総合地球環境学研究所

参加対象：学生、研究者、一般市民

参加費：無料

言語：日本語

プログラム：詳細はチラシに記載

申し込み方法：事前申し込み不要

お問い合わせ先

北海道大学大学院国際食資源学院 特任教授 船水 尚行（ふなみず なおゆき）

TEL : 011-706-4001 FAX : 011-706-4001 E-mail : funamizu@eng.hokudai.ac.jp

入場無料・申込不要

「知」を再発見することは、私たちにとって非常に重要な試みです。そして、知を再発見するための方法はもちろん、「知」そのものも、極めて多様な広がりを持っています。私たちは、世界や地域の暮らしの風景から見えてくるものを出発点に、この再発見の試みを行おうと考えています。

私たちが実施しているサニテーションのプロジェクトにおいては、「農」がサニテーション価値連鎖の形成の中で重要な位置を占めると考えています。そして、「農」は単なる生産活動だけをさすのではなく、人々の暮らしや営みや文化も含んだものと捉えています。つまり、「農」の営みは「生活圏」の営みなのです。

私たちは、「『農』の再発見：世界のフィールドから見えてくること」をテーマに、これまで4回にわたって北大・地球研の合同セミナーを開催してきました。5回目となる今回は、地球研地域連携セミナーとして、このテーマをさらに深く掘り下げてみたいと考えています。

このセミナーでは、世界のフィールドで働いてきた研究者の方々に、フィールドからみえる「農」を語っていただきます。そして、「農」を再発見してみようと試みます。

「農」の再発見

世界のフィールドから見えてくること

日時

2017

8/4 Fri

13:30~17:30

会場

北海道大学国際食資源学院 F319 室

講演 1

ラオス北部山岳地帯の焼畑農民が直面している問題とその対策

柏木 淳一 北海道大学大学院農学研究院 講師

講演 2

人はなぜ農業に惹かれるのか？

—1ターン就農、安喰さん家族の座談会記録より

石山 俊 総合地球環境学研究所 外来研究員・三村 豊 総合地球環境学研究所 センター研究推進員

講演 3

農業経済学から見える途上国の「農」—ベトナム農民のリスク分散行動から—

齋藤 陽子 北海道大学農学研究院 農資源経済学研究室 講師

講演 4

アジアやアフリカの脆弱環境に向き合う

—人びとの暮らしの向上と資源・生態環境の保全をめぐる—

田中 樹 総合地球環境学研究所 教授

「農」の再発見

世界のフィールドから見えてくること

プログラム

13:30 ~ 13:40 挨拶

船水 尚行 北海道大学大学院農学研究院 特任教授・総合地球環境学研究所 教授
井上 京 北海道大学 国際食資源学院 学院長
安成 哲三 総合地球環境学研究所 所長

13:40 ~ 13:50 趣旨説明 (解題)

講演

発表 30分 質疑応答 10分

13:50 ~ 14:30

講演 1

ラオス北部山岳地帯の焼畑農民が直面している問題とその対策

柏木 淳一

北海道大学大学院農学研究院講師、北海道大学国際食資源学院。専門は土壌物理学、土壌生成や土壌を取り巻く物質移動を明らかにし、肥沃で健康な土壌に改良、維持するための方法を探究しています。本セミナーでは、焼畑における土壌物質移動や時空間変動の特徴を解説し、現場に合った土壌保全対策について紹介します。

14:30 ~ 15:10

講演 2

人はなぜ農業に惹かれるのか？

—1ターン就農、安喰さん家族の座談会記録より

石山 俊・三村 豊

石山 俊 総合地球環境学研究所外来研究員。専門分野は文化人類学、環境人類学、アフロ・ユーラシア乾燥地域研究、日本の農村研究。アフリカ乾燥地農村研究と福井県の農村生活経験を起点に、「篤農家」研究に着手しています。ライフ・ヒストリーと社会的役割に注目して、「篤農家」を訪ねるフィールド行脚を継続中です。

三村 豊 総合地球環境学研究所センター研究推進員。専門分野は建築学 (建築史、都市史)、歴史 GIS。主に、インドネシア・ジャカルタ都市圏を対象に、古地図や地理情報システムを用いて研究に従事しています。他方、最近では、超学際研究の一端として映像を用いたコミュニケーション手法の研究に着手しています。

休憩 (10分)

15:20 ~ 16:00

講演 3

農業経済学から見える途上国の「農」

—ベトナム農民のリスク分散行動から—

齋藤 陽子

北海道大学農学研究院・農資源経済学研究室講師。農業の研究開発について、効率性、技術普及、社会実装など様々な視点から分析しています。本セミナーでは、途上国農村におけるリスクについて、技術普及における農業保険の役割からお話します。

16:00 ~ 16:40

講演 4

アジアやアフリカの脆弱環境に向き合う

—人びとの暮らしの向上と資源・生態環境の保全をめぐる—

田中 樹

総合地球環境学研究所教授。専門は、環境農学、地域開発論、土壌学など。「ヒト対自然」という二項対立ではなく、「ヒトも自然も」を実現する「学」と「術」を探っています。本セミナーでは、アフリカ・アジアの半乾燥熱帯や湿润熱帯での人びとの暮らしの向上と資源・生態環境の保全を両立させるような技術や生業 (なりわい) を創発する事例を紹介します。

休憩 (10分)

16:50 ~ 17:20

総合討論

コメンテーター：西條 辰義 総合地球環境学研究所 特任教授・プログラムディレクター

17:20 ~ 17:30

閉会挨拶

窪田 順平 総合地球環境学研究所 副所長

会場：北海道大学国際食資源学院 F319 室

〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西9丁目

【お問い合わせ】 北海道大学 大学院国際食資源学院

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目

船水研究室 tel : 011-706-4001



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

総合地球環境学研究所

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

広報室 tel : 075-707-2128

※平日の8:30~17:00の間にお問い合わせください。

● 交通アクセス

【最寄の駅から会場まで】

・JR線をご利用の場合
札幌駅北口から…徒歩約10分

・地下鉄南北線をご利用の場合
北12条駅から…徒歩約10分
さっぽろ駅から…徒歩約12分

【新千歳空港から札幌駅まで】

・JR線をご利用の場合
快速エアポート…約40分

・バスをご利用の場合
札幌部心行…約1時間10分

